

(表9)母親自身の過去の被虐待体験と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	139	52.90	12.73
	あり	130	55.72	14.48
愛着	なし	130	41.72	11.01
	あり	119	51.53	17.16
行動	なし	133	62.98	12.22
	あり	124	68.77	14.28
総合	なし	122	55.04	12.12
	あり	114	63.56	14.69
7歳以上総合得点	あり	176	20.82	17.62
	なし	128	27.09	20.08
虐待的人間関係	なし	185	3.26	3.71
	あり	134	4.44	4.04
力による対人関係	なし	181	3.02	3.00
	あり	131	3.60	2.94
自信の欠如	なし	184	2.37	2.85
	あり	132	2.76	3.13
注意・多動の問題	なし	184	3.47	3.68
	あり	132	4.20	3.95
学校不適応	なし	186	2.00	2.63
	あり	134	2.30	2.94
感情の抑制・抑圧	なし	183	1.28	2.20
	あり	131	1.95	2.66
性的逸脱行為	なし	184	0.42	1.13
	あり	134	0.68	1.55
希死念慮・自傷性	なし	184	1.39	2.18
	あり	132	2.26	2.85
反社会的逸脱行為	なし	191	0.40	1.13
	あり	137	0.48	1.14
食物固執	なし	184	1.99	2.43
	あり	133	2.33	2.48
感情調整障害	なし	185	1.55	2.39
	あり	134	2.18	2.78
危険項目	なし	185	2.14	2.83
	あり	131	2.48	2.82

(表10) 現在の法律上の婚姻状況と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	未入籍	42	56.02	15.15
	入籍したまま	53	54.38	14.68
	離婚している	180	53.74	12.92
愛着	未入籍	37	49.68	15.24
	入籍したまま	49	51.00	18.11
	離婚している	167	44.23	13.53
行動	未入籍	40	68.78	14.27
	入籍したまま	50	67.16	13.62
	離婚している	173	64.92	13.26
総合	未入籍	35	61.26	14.35
	入籍したまま	47	61.64	15.17
	離婚している	158	57.95	13.45
7歳以上総合得点	未入籍	19	28.84	21.22
	入籍したまま	43	31.40	23.78
	離婚している	245	21.65	17.34
虐待的人間関係	未入籍	23	4.04	3.72
	入籍したまま	44	4.91	4.57
	離婚している	255	3.59	3.81
力による対人関係	未入籍	22	3.36	3.16
	入籍したまま	44	4.52	3.90
	離婚している	249	3.03	2.75
自信の欠如	未入籍	22	3.91	3.58
	入籍したまま	43	3.00	3.02
	離婚している	254	2.31	2.88
注意・多動の問題	未入籍	22	5.91	4.47
	入籍したまま	44	4.95	4.44
	離婚している	253	3.38	3.51
学校不適応	未入籍	23	2.26	2.43
	入籍したまま	44	2.18	2.76
	離婚している	256	2.08	2.79
感情の抑制・抑圧	未入籍	22	2.23	3.21
	入籍したまま	44	1.89	2.55
	離婚している	251	1.42	2.30
性的逸脱行為	未入籍	23	0.43	1.12
	入籍したまま	44	0.48	1.32
	離婚している	254	0.55	1.35
希死念慮・自傷性	未入籍	22	2.00	2.49
	入籍したまま	44	2.68	3.58
	離婚している	253	1.57	2.24
反社会的逸脱行為	未入籍	22	0.59	1.40
	入籍したまま	46	0.54	1.21
	離婚している	264	0.40	1.09
食物固執	未入籍	23	2.04	2.58
	入籍したまま	44	3.09	2.78
	離婚している	253	2.00	2.35
感情調整障害	未入籍	23	2.17	2.85
	入籍したまま	44	2.57	3.24
	離婚している	255	1.65	2.39
危険項目	未入籍	21	3.10	3.00
	入籍したまま	44	2.66	3.12
	離婚している	254	2.13	2.75

(表11) 法廷での係争・調停と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	終了した	66	54.33	14.52
	現在係争、調停	42	56.31	15.76
	必要なかった	150	53.06	12.57
愛着	終了した	63	43.59	13.38
	現在係争、調停	40	53.55	19.11
	必要なかった	134	45.41	14.04
行動	終了した	65	61.63	11.84
	現在係争、調停	41	70.07	14.72
	必要なかった	142	66.58	13.42
総合	終了した	59	56.25	13.33
	現在係争、調停	39	64.33	16.10
	必要なかった	128	58.88	13.54
7歳以上総合得点	終了した	104	21.88	17.20
	現在係争、調停	21	32.29	23.31
	必要なかった	164	21.99	18.09
虐待的人間関係	終了した	110	3.94	3.74
	現在係争、調停	21	5.43	4.13
	必要なかった	170	3.26	3.64
力による対人関係	終了した	106	3.13	2.60
	現在係争、調停	21	5.38	4.12
	必要なかった	169	3.01	2.91
自信の欠如	終了した	109	2.06	3.10
	現在係争、調停	21	2.52	2.56
	必要なかった	169	2.66	2.88
注意・多動の問題	終了した	109	3.17	3.44
	現在係争、調停	21	4.48	3.88
	必要なかった	170	3.82	3.73
学校不適応	終了した	110	1.99	2.75
	現在係争、調停	21	1.43	1.89
	必要なかった	171	2.07	2.60
感情の抑制・抑圧	終了した	107	1.76	2.82
	現在係争、調停	21	2.00	2.65
	必要なかった	169	1.41	2.16
性的逸脱行為	終了した	109	0.61	1.64
	現在係争、調停	21	0.95	1.80
	必要なかった	170	0.44	1.03
希死念慮・自傷性	終了した	108	1.87	2.59
	現在係争、調停	21	2.67	3.85
	必要なかった	170	1.46	2.03
反社会的逸脱行為	終了した	117	0.48	1.29
	現在係争、調停	23	0.57	1.16
	必要なかった	170	0.36	0.98
食物固執	終了した	109	2.19	2.46
	現在係争、調停	21	3.43	2.42
	必要なかった	169	1.91	2.35
感情調整障害	終了した	110	1.67	2.24
	現在係争、調停	21	3.43	3.28
	必要なかった	170	1.55	2.43
危険項目	終了した	110	2.28	3.01
	現在係争、調停	21	2.05	2.78
	必要なかった	167	2.04	2.46

(表12)元夫・パートナーから子どもへの虐待と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	139	52.95	13.56
	あり	122	56.29	13.98
愛着	なし	134	45.11	14.67
	あり	110	47.52	15.09
行動	なし	131	65.41	14.31
	あり	119	66.39	12.80
総合	なし	123	58.50	14.79
	あり	108	59.98	13.25
7歳以上総合得点	あり	118	20.31	18.08
	なし	188	25.36	19.02
虐待的人間関係	なし	120	3.31	3.81
	あり	200	4.05	3.94
力による対人関係	なし	119	2.51	2.54
	あり	195	3.67	3.13
自信の欠如	なし	119	2.40	2.83
	あり	198	2.64	3.07
注意・多動の問題	なし	119	3.74	4.13
	あり	198	3.80	3.56
学校不適応	なし	121	1.83	2.69
	あり	200	2.32	2.79
感情の抑制・抑圧	なし	119	1.12	1.74
	あり	196	1.78	2.72
性的逸脱行為	なし	120	0.39	1.19
	あり	199	0.59	1.39
希死念慮・自傷性	なし	119	1.55	2.27
	あり	198	1.86	2.65
反社会的逸脱行為	なし	124	0.33	1.09
	あり	204	0.50	1.16
食物固執	なし	118	1.83	2.44
	あり	200	2.41	2.44
感情調整障害	なし	120	1.25	2.16
	あり	200	2.13	2.75
危険項目	なし	119	1.95	2.83
	あり	198	2.53	2.83

(表13)過去の母から子どもへの虐待と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	150	53.78	13.50
	あり	89	57.01	14.89
愛着	なし	142	44.27	13.91
	あり	81	50.01	16.06
行動	なし	147	64.82	13.59
	あり	80	68.39	14.07
総合	なし	136	57.86	14.18
	あり	75	62.21	14.63
7歳以上総合得点	あり	174	19.72	16.50
	なし	115	29.06	21.04
虐待的人間関係	なし	178	3.39	3.63
	あり	124	4.43	4.31
力による対人関係	なし	176	2.67	2.70
	あり	120	4.08	3.24
自信の欠如	なし	177	2.13	2.55
	あり	123	3.15	3.43
注意・多動の問題	なし	177	3.20	3.49
	あり	122	4.79	4.12
学校不適応	なし	178	1.68	2.33
	あり	125	2.77	3.12
感情の抑制・抑圧	なし	176	1.14	1.88
	あり	121	2.06	2.93
性的逸脱行為	なし	178	0.34	1.00
	あり	123	0.80	1.69
希死念慮・自傷性	なし	177	1.33	2.16
	あり	122	2.38	2.77
反社会的逸脱行為	なし	183	0.30	0.85
	あり	126	0.56	1.38
食物固執	なし	176	1.97	2.21
	あり	124	2.45	2.68
感情調整障害	なし	178	1.56	2.36
	あり	124	2.20	2.85
危険項目	なし	178	1.75	2.21
	あり	122	3.07	3.41

(表14)現在の母から子どもへの虐待と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	204	52.80	12.83
	あり	66	58.74	15.37
愛着	なし	191	45.19	14.17
	あり	59	50.27	16.26
行動	なし	198	63.57	12.50
	あり	62	73.42	14.34
総合	なし	180	57.02	12.92
	あり	57	66.49	15.03
7歳以上総合得点	あり	214	20.33	17.08
	なし	91	31.26	20.55
<hr/>				
虐待的人間関係	なし	221	3.42	3.52
	あり	97	4.77	4.63
力による対人関係	なし	218	2.85	2.75
	あり	94	4.17	3.34
自信の欠如	なし	221	2.27	2.85
	あり	95	3.25	3.17
注意・多動の問題	なし	221	3.13	3.39
	あり	94	5.45	4.21
学校不適応	なし	221	1.87	2.56
	あり	97	2.67	3.12
感情の抑制・抑圧	なし	218	1.48	2.47
	あり	95	1.74	2.32
性的逸脱行為	なし	220	0.40	1.12
	あり	97	0.85	1.69
希死念慮・自傷性	なし	220	1.42	2.20
	あり	95	2.57	2.98
反社会的逸脱行為	なし	230	0.34	0.92
	あり	96	0.63	1.47
食物固執	なし	220	2.03	2.39
	あり	96	2.58	2.58
感情調整障害	なし	221	1.59	2.33
	あり	97	2.27	2.95
危険項目	なし	220	2.00	2.46
	あり	95	2.97	3.47

(表15)母の解離と子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	高群	175	52.35	11.83
	低群	86	58.31	15.46
愛着	高群	163	44.38	14.63
	低群	78	49.99	15.48
行動	高群	169	63.59	12.76
	低群	80	69.49	13.61
総合	高群	155	56.86	13.33
	低群	75	63.44	14.40
7歳以上総合得点	高群	183	18.91	16.55
	低群	115	31.10	20.31
虐待的人間関係	高群	188	3.13	3.59
	低群	120	4.73	4.07
力による対人関係	高群	186	2.70	2.77
	低群	119	4.18	3.14
自信の欠如	高群	188	2.20	2.69
	低群	119	3.09	3.30
注意・多動の問題	高群	188	3.07	3.58
	低群	120	4.89	3.86
学校不適応	高群	188	2.02	2.91
	低群	120	2.34	2.55
感情の抑制・抑圧	高群	185	1.05	1.95
	低群	120	2.33	2.70
性的逸脱行為	高群	188	0.36	1.14
	低群	120	0.76	1.54
希死念慮・自傷性	高群	187	1.24	1.92
	低群	120	2.57	3.08
反社会的逸脱行為	高群	196	0.35	1.10
	低群	121	0.57	1.20
食物固執	高群	188	1.78	2.34
	低群	119	2.76	2.50
感情調整障害	高群	188	1.40	2.34
	低群	120	2.53	2.83
危険項目	高群	187	2.05	2.97
	低群	118	2.64	2.57

(表16)母の抑うつと子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	143	51.13	12.03
	あり	121	57.85	15.01
愛着	なし	137	42.93	13.50
	あり	110	50.76	15.87
行動	なし	140	63.33	12.91
	あり	117	69.32	13.72
総合	なし	130	55.92	12.54
	あり	106	63.34	14.86
7歳以上総合得点	あり	169	18.11	16.06
	なし	119	31.24	20.18
虐待的人間関係	なし	174	3.25	3.77
	あり	126	4.78	4.14
力による対人関係	なし	171	2.68	2.77
	あり	124	4.10	3.16
自信の欠如	なし	174	1.94	2.72
	あり	125	3.23	3.11
注意・多動の問題	なし	174	2.84	3.42
	あり	125	5.10	3.99
学校不適応	なし	174	1.70	2.64
	あり	127	2.65	2.92
感情の抑制・抑圧	なし	172	1.18	2.12
	あり	124	2.07	2.71
性的逸脱行為	なし	173	0.43	1.29
	あり	126	0.60	1.26
希死念慮・自傷性	なし	173	1.28	2.08
	あり	125	2.54	2.93
反社会的逸脱行為	なし	183	0.42	1.18
	あり	127	0.42	0.97
食物固執	なし	174	1.92	2.36
	あり	125	2.60	2.59
感情調整障害	なし	174	1.24	2.13
	あり	126	2.71	2.95
危険項目	なし	173	1.92	2.93
	あり	124	2.71	2.73



(表17)母のトラウマと子どもの精神衛生

		N	M	SD
トラウマ	なし	152	51.15	11.53
	あり	114	58.49	15.38
愛着	なし	141	43.21	13.84
	あり	105	50.71	15.63
行動	なし	149	63.30	12.95
	あり	108	69.28	13.75
総合	なし	136	56.13	12.54
	あり	99	63.57	15.00
7歳以上総合得点	あり	184	18.55	15.91
	なし	109	32.52	20.43
虐待的人間関係	なし	188	3.19	3.63
	あり	117	4.99	4.22
力による対人関係	なし	186	2.67	2.67
	あり	114	4.41	3.26
自信の欠如	なし	188	2.13	2.84
	あり	116	3.31	3.16
注意・多動の問題	なし	188	3.03	3.42
	あり	116	5.16	4.06
学校不適応	なし	188	1.72	2.60
	あり	118	2.81	2.99
感情の抑制・抑圧	なし	186	1.13	1.97
	あり	115	2.26	2.88
性的逸脱行為	なし	188	0.39	1.16
	あり	116	0.65	1.29
希死念慮・自傷性	なし	187	1.22	2.00
	あり	116	2.59	2.97
反社会的逸脱行為	なし	195	0.39	1.12
	あり	119	0.45	1.06
食物固執	なし	188	1.85	2.25
	あり	116	2.82	2.70
感情調整障害	なし	188	1.24	2.09
	あり	117	2.83	3.01
危険項目	なし	187	1.82	2.79
	あり	115	3.06	2.84

以下の質問の中で使用される「元の夫・パートナー」とは、以前あなたが同居もしくは半同居していたことがある男性のことで、法律（戸籍）上の関係は必要ありません。

## 1. あなたご自身のことについてうかがいます

- (問 1) あなたの現在の年齢 ( ) 歳
- (問 2) 元の夫・パートナーの年齢 ( ) 歳
- (問 3) 母子生活支援施設での生活期間 ( ) 年 ( ) ヶ月
- (問 4) 現在の法律上の婚姻状況（あてはまる番号に○をつけてください）
- 1) 未入籍
  - 2) 入籍したまま
  - 3) 離婚している
- (問 5) 元の夫・パートナーと離婚もしくは別居した理由（あてはまる番号に○をつけてください）
- 1) 夫の自分への暴力
  - 2) 夫の子どもへの暴力
  - 3) その他
- (問 6) 法廷で係争、調停などを行いましたか？あてはまる番号に○をつけてください。
- 1) 終了した⇒いつ終了しましたか？ 現在より ( ) 年 ( ) ヶ月前
  - 2) 現在係争、調停中
  - 3) 必要なかった
- (問 7) 元の夫・パートナーと子どもが会うことがありますか？あてはまる方を○で囲んでください。  
( ある ・ ない ) →ある場合、年間約 ( ) 回
- (問 8) 元の夫・パートナーとあなたご自身が今でも顔を合わせる必要がありますか？あてはまる方を○で囲んでください。  
( ある ・ ない ) →ある場合、年間約 ( ) 回
- (問 9) あなたは現在、職業についていますか？あてはまる番号に○をつけてください。
- 1) 職業訓練に通っている
  - 2) 勤めている（パートタイム）
  - 3) 勤めている（フルタイム）
  - 4) 無職
- (問 10) あなたは現在専門家による支援を受けていますか？あてはまる方を○で囲んでください。  
( はい ・ いいえ )  
→「はい」の場合・・・あてはまる番号に○をつけてください（複数回答）
- 1) 精神科医
  - 2) 心療内科医
  - 3) その他の医師
  - 4) 臨床心理士・カウンセラー
  - 5) 弁護士
  - 6) 保健師
  - 7) その他 具体的に ( )

(問 11) あなたが今望んでいる援助は何ですか？以下の項目のうち3つ選んで番号に○をつけてください。

- 1) 専門家による個別のあなた自身の心のケア
- 2) 専門家による個別の子どもの心のケア
- 3) 夜間の保育士による子どもの保育
- 4) 土日祝日の保育士による子どもの保育
- 5) 自立支援のためのプログラム
- 6) 自立のための経済的支援
- 7) その他 具体的にどんなことですか？

( )

(問 12) 初めての出産はあなたが何歳の時でしたか？ ( ) 歳

2. 過去にあなたが経験された出来事についてうかがいます。

以下の11項目それぞれについて、右の欄のあてはまると思われる番号を選んで1つずつ○をつけて下さい。

	全くなかった	まれにあった	ときどきあった	よくあった
1 私は親（義理の親を含む）から暴力を受けた	1	2	3	4
2 私は親の暴力によって病院に行ったことがある	1	2	3	4
3 私は食べ物が与えられなかったり暖かい服を着せてもらえなかったりしたことがある	1	2	3	4
4 親から無視されたり拒否されたことがある	1	2	3	4
5 親は私が傷つくような言葉を投げかけた	1	2	3	4
6 親から性的な関わりを強要された（性的な関わりとは、性交のみではなく、触る、見せる、裸の写真を撮る等も含まれる）	1	2	3	4
7 親以外の大人から性的な関わりを強要された	1	2	3	4
8 私は元の夫・パートナーからケガをするほどの暴力を受けた	1	2	3	4
9 元の夫・パートナーは私が傷つく言葉を投げかけた	1	2	3	4
10 元の夫・パートナーに強い恐怖を感じた	1	2	3	4
11 元の夫・パートナーに嫌がっているのに無理やり性的な関わりを強要された	1	2	3	4

## 3. あなたは日頃、以下のような経験や体験をすることがありますか。

以下の10項目それぞれについて右の欄のあてはまると思われる番号を選んで1つずつ○をつけて下さい。

	まったく ない	まれに ある	ときどき ある	よく ある
1. 子どもを叱っているときに、いつの間にかたたいたりつねったりしていることに、ふと気づくことがある。いつどうしてたたいたのか、出来事の流が思い出せないことがある	1	2	3	4
2. 子どもと会話（対話）していて、今しがた子どもから言われたこと（話しかけられたこと）を聞いていなかったことにふと気がつく	1	2	3	4
3. 子どもを強く叱っているときには、普段の自分とは全く違って振る舞うので、自分がまるで2人の別の人間のように感じられる	1	2	3	4
4. 子どもが親（母親）の望み通りにならないこと、母親の指示に従ってくれないことがある	1	2	3	4
5. 自分が育児しているところを、まるで脇に立って見ているように感じ、あたかも他人を眺めるように自分自身の育児行動を見てしまうことがある	1	2	3	4
6. ふだんの生活で、どのように、またはどうやって育児をしたのか、育児の行程の一部（または全部）を覚えていないことにふと気づく、という経験がある	1	2	3	4
7. 子育ての最中に、じっと空を見つめて、何も考えず、時間の経過に気がつかないまま、ただじっと座っていることがある	1	2	3	4
8. あることを実際にしたのかそれとも、しようと思っただけなのかよく思い出せない（例えば子どもを実際に叱ったのか、それとも叱ろうと思っただけなのか）というような経験がある	1	2	3	4
9. 子どもを育てていくのは結構大変だと思ったことがある	1	2	3	4
10. まるでそれが実際に起こっていると思えるほど、空想や白昼夢に引き込まれることがある	1	2	3	4

4. あなたは最近1週間に以下のような経験していますか？

以下の19項目それぞれについて右の欄のあてはまると思われる番号を選んで1つずつ○をつけて下さい。

	全 く な か っ た	ま れ に あ っ た	と き ど き あ っ た	よ く あ っ た
1. 睡眠の途中で目が覚めてしまう	1	2	3	4
2. エネルギーがなくなってしまうように感じる	1	2	3	4
3. 「過去のつらい出来事」を思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、どきどきすることがある	1	2	3	4
4. 「過去のつらい出来事」のことは考えないようにしている	1	2	3	4
5. なかなか眠れない	1	2	3	4
6. 生まれてこなければよかったと思うことがある	1	2	3	4
7. ものごとに集中できない	1	2	3	4
8. これから先のことについて積極的に考えることができない	1	2	3	4
9. 考えるつもりはないのに、「過去のつらい出来事」のことを考えてしまうことがある	1	2	3	4
10. 実際には「過去のつらい出来事」は起きなかったとか、本当のことではなかったような気がする	1	2	3	4
11. いらいらいして怒りっぽくなっている	1	2	3	4
12. 何でも自分のせいだと思ってしまう	1	2	3	4
13. 「過去のつらい出来事」についての感情を思い出せない	1	2	3	4
14. 急に泣き出すことがある	1	2	3	4
15. 「過去のつらい出来事」を思い出させるものには近よらない	1	2	3	4
16. 悲しいと感じる	1	2	3	4
17. 気がつくと、まるで「過去のつらい出来事」が生じたときに戻ってしまったかのよう、ふるまったり感じたりすることがある	1	2	3	4
18. 自分は駄目な人間だと思う	1	2	3	4
19. 「過去のつらい出来事」についての夢を見る	1	2	3	4



2. 元の夫・パートナーはそのお子さまに、次のようなことをしましたか？

次の8項目それぞれについて右の欄のあてはまると思われる番号を選んで1つずつ○をつけて下さい。

	全くなかった	まれにあった	ときどきあった	よくあった
1 子どもに暴力を振るった	1	2	3	4
2 子どもが怪我をするほどの暴力を振るった	1	2	3	4
3 子どもの食事を与えさせなかった	1	2	3	4
4 子どもが傷つくようなことを言った	1	2	3	4
5 子どもの言動を無視した	1	2	3	4
6 子どもに母親を殴らせた	1	2	3	4
7 わざと子どもの前で母親に暴力をふるった	1	2	3	4
8 子どもに性的な関わりをせまった	1	2	3	4

3. 元の夫やパートナーと同居中、あなたはそのお子さまに、次のようなことをしたことがありますか？ 例をご参照の上、次の項目それぞれについてお答えください（最も当てはまるもの一つだけに○をしてください）

例. 子どもの衣服を作る

1) 全くなかった 2) まれにあった ③ 時々あった 4) よくあった	その理由をお答え下さい ① 裁縫が得意だから ② 子どもが喜ぶから ③ 出費を抑えるため
---	---

1. 子どもと一緒に遊んだり、会話を楽しむ

1) 全くなかった 2) まれにあった 3) 時々あった 4) よくあった	その理由をお答え下さい ① 自分に精神的余裕がなかったから ② 自分に時間的余裕がなかったから ③ 子どもの世話をすると元の夫やパートナーがやきもちをやくから ④ その他( )
--	--

2. 子どもを殴ったりけったりする

1) 全くなかった 2) まれにあった 3) 時々あった 4) よくあった	}	→	その理由をお答え下さい ①元の夫やパートナーとの関係でイライラしていたから ②元の夫やパートナーに強要されたから ③自分がやらないと子どもはもつと(元の夫やパートナーから)暴力をふるわれるから ④しつけのため ⑤その他( )
--	---	---	---

3. 子どもにとって必要な世話をしない(食事や着替えなど)

1) 全くなかった 2) まれにあった 3) 時々あった 4) よくあった	}	→	その理由をお答え下さい ①自分に精神的余裕がなかったから ②自分に時間的余裕がなかったから ③子どもの世話をすると元の夫やパートナーがやきもちをやくから ④その他( )
--	---	---	--

4. 傷つけるような言葉を言う

1) 全くなかった 2) まれにあった 3) 時々あった 4) よくあった	}	→	その理由をお答え下さい ①元の夫やパートナーとの関係でイライラしていたから ②元の夫やパートナーに強要されたから ③しつけのため ④子どもの方が先にけんかを仕掛けてきたから ⑤その他( )
--	---	---	---

5. ほめる

1) 全くなかった 2) まれにあった 3) 時々あった 4) よくあった	}	→	その理由をお答え下さい ①自分に精神的余裕がなかったから ②子どもをほめると元の夫やパートナーがやきもちをやくから ③子どもにはほめるべき良いところがなかった ④その他( )
--	---	---	---



4. あなたはお子様に対して、現在次のようなことをすることはありますか？次の5項目それぞれについてお答えください（○はひとつずつ）。

1. 子どもと一緒に遊んだり、会話を楽しむ

1) 全くない 2) まれにある 3) 時々ある 4) よくある	}	→	その理由をお答え下さい ①自分に精神的余裕がないから ②自分に時間的余裕がないから ③子どもが嫌がるから ④その他 ( )
---	---	---	---

2. 子どもを殴ったりけったりする

1) 全くない 2) まれにある 3) 時々ある 4) よくある	}	→	その理由をお答え下さい ①しつけのためにやっている ②うちの子は口で言っても分からない ③子どもが自分を傷つけた人を思い出させてしまう ④気がつくといいてしまっている ⑤いけないと思いつつ叩いてしまう ⑥その他 ( )
---	---	---	---

3. 子どもにとって必要な世話をしない（食事や着替えなど）

1) 全くない 2) まれにある 3) 時々ある 4) よくある	}	→	その理由をお答え下さい ①「片親」と言われたくないので子どもにしっかりさせたいため ②時間的余裕がないから ③頭にきて世話をしないことがある ④子どもに関心をもてない ⑤子どもが自分を傷つけた人を思い出させてしまう ⑥その他 ( )
---	---	---	--

4. 傷つけるような言葉を言う

1) 全くない 2) まれにある 3) 時々ある 4) よくある	}	→	その理由をお答え下さい ①子どもの方が先にけんかを仕掛けてくる ②子どもが自分を傷つけた人を思い出させてしまう ③気がつくとい傷つく言葉を言ってしまう ④その他 ( )
---	---	---	--

5. ほめる

1) 全くない 2) まれにある 3) 時々ある 4) よくある	}	→	その理由をお答え下さい ①自分に精神的余裕がないので ②ほめると子どもがいい気になるので ③子どもにはほめるべき良いところがないので ④その他 ( )
---	---	---	---

厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）  
家庭内暴力被害者の自立とその支援に関する研究  
（主任研究者 石井朝子）

分担研究報告書  
分担研究者 奥山眞紀子 国立成育医療センター

## 被害児童への治療・ケアのあり方に関する研究

### 被虐待児童が蒙った心理的影響

#### ～樹木画テスト(バウムテスト)の所見から～

研究協力者 阿部恵一郎 創価大学教育学部

分担研究者 奥山眞紀子 国立成育医療センター

#### 研究要旨

DV目撃を始めとする虐待体験が子どもに及ぼす影響を推定するために、DV目撃などの虐待体験の多い群としての母子生活支援施設に入所している子どものバウムテストと公立小中学校生徒300名のバウムテストを比較し、対象児童の描画について虐待の心理的影響としてこれまで指摘されることの多かった不安・抑うつ・神経過敏・強迫・解離のサインが描画にどのような頻度で出現するか調べてみた。その結果、かなり多くの子どもが情緒的な影響を受けていることが確認された。そればかりでなく、心理学的サインにおける人型の樹木画が父親のイメージを恐れると解釈されるので、その頻度を調べたところ、高率に出現していることがわかった。投影法検査の限界があるが、バウムテストはこのような子ども達の心理検査として有用であり、個々の症例でバウムテストのサインを判断して支援に役立てることが望まれる

#### A. 目的

被虐待体験を持つと思われる児童を対象にして樹木画テスト(バウムテスト)を施行し、被虐待体験の心理的影響を調査することを目的としている。児童は一般に自分の体験や心理的ダメージを言語的に表現するのは困難な場合が少なくない。今回の調査で、母親に対しては質問紙を使って調査をおこなえたが、児童については質問紙による調査研究は困難と考えられた。そこで描画テストから心理学的所見を評価することにした。描画テストには人物画や家族画などさまざまな方法があるが、被虐待体験のある児童を対象としているので、「人物」や「家族」といった極めて被虐待的状況を連想させるテーマを避け、「木」を描いてもらう樹木画テスト(バウムテスト)をお

こなうことにした。

また、今回の調査と平行して公立小中学校生徒300名の樹木画も収集できたので、一般児童との比較もおこないどのような点で対象児童が心理的ダメージを受けているかについて、比較検討した。

#### B. 対象と方法

##### 1. 対象児童

母子寮に入っている母子に質問紙によるアンケート調査を実施し、「表1. 調査対象数」に見られるように、合計665組の母親から質問紙による資料の収集をおこなった。その際、母親に子どもに対して「木を描く」という課題をおこなってもらうように依頼した。

その結果、「表2. 樹木画(バウムテスト)実施状況」に示したように、男児331名中230名(69.5%)、女児333名中234名(70.3%)が描画に協力してくれた。年齢分布は、表2. に見るように、1歳から18歳までで、樹木画の枚数は464枚集められた。

なお、公立小学校生徒300名の樹木画を対照群とした。

## 2. 分析方法

### (1) 樹木画の読み方

樹木画テストは、スイスの職業カウンセラー、コッホが発案したと言われている。日本には1970年代に導入されて、精神医療の現場や心理査定ツールとして用いられ、この数年間の臨床心理士が使用する心理検査のなかで最も使用頻度の高いテストである。それにもかかわらず、読み方が定式化されず、実施が容易であるため簡単に用いられるが、解釈が難しいと言われてきた。

しかし、1995年に出版され、2002年に邦訳されたカスティエーラの『バウムテスト活用マニュアル-精神症状と問題行動の評価』(金剛出版、2002年)では、それまでの印象や象徴による解釈だけでなく、描画から心理学的サインを抽出し、これを基に被検者の心理や精神病理を読み解くという方法がとられるようになってきている。描画を読む手順については、現在のところまだ確定したものはないのだが、本調査研究では大量の描画から特徴を抽出する作業をおこなうため、心理学的サインに注目して分析をおこなった。

### (2) 樹木画(バウムテスト)の心理学的サインについて

樹木画(バウムテスト)の読み方は、一般に以下の7つの点に注目しておこなわれる。①形態、②位置、③大きさ、④描線、⑤空間象徴、⑥木の象徴性(樹冠・幹・根など)、⑦ウロ。

今回の調査に用いた心理学的サインを中心に簡単に説明を加えることにする。

#### ①形態

形態では、「木に見えるか」がポイントとなる。形態についてさまざまな指摘がされていて、これまでに次のようなことが言われている。貧弱なあるいは子どもっぽい形態(知的障害)、子どもっぽい形態(神経症・精神病)、木とは思えない形

態(神経症・精神病、薬物依存)、抽象的でちぐはぐな形態(接触困難、現実から切り離されている状態)、特徴的な木を描いた場合例えば、椰子の木(逃避)、さらに極端に抽象的な木や空想的な木についてもさまざまな解釈がある。

本研究ではまず対象児童の描画が「木に見えるか」どうかを検討した。年齢的に描画可能年齢が何歳からかを調べた。また「木に見えない」描画であれば、心理学的サインを読み取ることもできないのである。形態についてもう一つ注目したのは「木が擬人的」であるかという点である。シロール(1965)は、「擬人的で人間のように見える木」は、未熟さのサインであり、父親のイメージにおそれを抱いていると、報告しているので、DVの体験を含む児童が多いことから、このサインに注目した。

#### ②位置

用紙上に描画された木がどのように配置されるかによってさまざまな解釈仮説があるが、本研究の分析には使用していない。

#### ③大きさ

大きな木は外向的、小さな木は抑うつ傾向、小さすぎる木は内向的性格などの指摘がある。

#### ④描線

多くの場合鉛筆を使用している。鉛筆の描く線にも筆圧の強さ、濃淡、運筆の速さなどから多くの解釈仮説がある。例として以下のような描線と心理学的サインの関連が報告されている。(例：鋭い描線：神経過敏、攻撃性。ギザギザした描線：神経過敏、攻撃性。筆圧の弱い描線：抑うつ傾向。細く薄い描線：感じやすさ。繰り返しなぞられた描線：神経過敏、固執傾向など)

#### ⑤空間象徴(上下と左右の描き方の違い)

例えば、幹の左右の輪郭線で描線が違っている、あるいは樹冠部と幹を比較すると描画の上下で著しい陰影のコントラストが見られるなど、左右・上下を比較することから得られる所見である。幹の輪郭線で右側が濃く、左側が薄い場合には、現実の生活での不如意を表現している。経済的な困窮が示されることもある。

#### ⑥木の象徴性(樹冠・幹・根など)

木の描画は、根、地面、幹、樹冠、枝の大きく5つに分けられる。根は「根づきの問題」、本能や衝動性の領域、幹は自我感情、樹冠部は人格の発展や周囲との対人関係を表現すると考え

られている。

### ⑦ウロ

ウロ（虚）は幹に描かれた傷跡で、描画では幹の表面に丸形の模様、渦巻き、幹の輪郭線の断裂、太い幹の極端な捻れ、あるいは樹皮にとまった虫などで表現される。これはトラウマのサインであり、これまでの人生で何か現在の状態に大きく影響を与えている出来事である場合が多い。しかも木の描画の下端を0歳とし、上端を現在の年齢として高さを測定すると、何歳の時の出来事が判断することが出来る。

### （3）本研究で採用した心理学的サインと分析方法

上述したように、木の形態からは、「木に見えるか」と「擬人的な木」を分析アイテムとした。

また、カスティーラが報告した「不安」「抑うつ」「神経過敏」のサインを参考にした。それ以外に「強迫傾向」は描線と描き方から判断し、「解離」については、精神の領域である樹冠部と情緒・感情の領域である幹が截然と分かれた描き方からサインとした。

カスティーラのサイン：

「不安」の主なサイン：濃い陰影（地面のライン、根、幹、枝、茂み）／強い筆圧あるいは殴り書きの描線／小さな木／用紙の左側に位置する木／不連続な描線／葉の密生している木／葉のない枝

「神経過敏」の主なサイン：茂みの中で交差し、ぶつかり合う描線／殴り書きや乱雑な線で描かれた茂み／濃い陰影／鋭い描線（これは攻撃性を示すサインでもある）／幹の根もとに見られる黒い横線／殴り書きの強い筆圧／矢のように鋭い描線（情緒のコントロール不良）／何度も書き加えられたジグザグの描線。

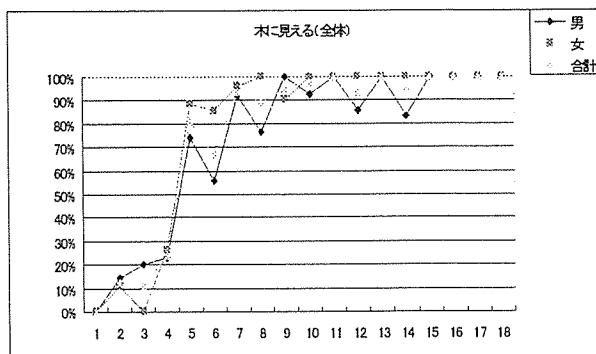
「抑うつ傾向」の主なサイン：下方に下がる茂み（しだれ柳など）／描線が切れ切れになっている幹／殴り書きの描線／葉のない単線の枝が描かれた小さな木／濃い陰影（不安のサイン）／茂みの中に見られる対称的なライン構成／神経過敏のサイン（不連続で何度も書き加えられた描線など）／筆圧の弱い描線。

## C. 結果

### (1) 形態

#### ①「木に見える」形態

図1.



4歳までは木に見えない形態が多く、5歳以上になると80%以上の描画が樹木画(バウムテスト)らしくなり、所見を読み取ることができる。男女差があり、5歳から9歳までの間で特に顕著である。

図2.

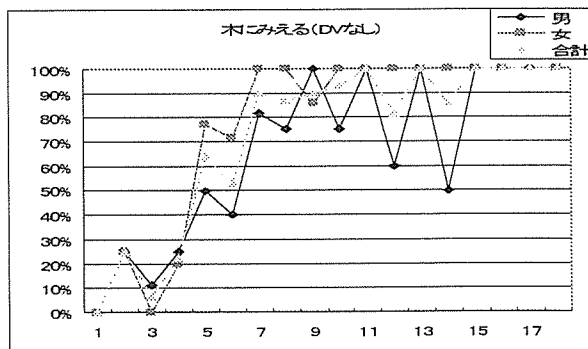


図3.

